


0000 様

分析結果報告書

「 題名 CT群とEX群の患者背景の比較 」

作成日 2016年1月1日

 株式会社エース統計サポート

1. 解析の方法

解析名称	CT群とEX群の患者背景の比較	
解析データ	〇〇における患者背景データ	
解析対象例数	200 (欠損値なし)	
有意水準	0.05 (5%)	
変数	比較群	CT群 vs EX群
	検定変数 条件	患者背景項目 (年齢、性別、測定値A、測定値B、測定値C) なし
ご依頼内容	CT群とEX群において、患者背景に違いがあるのかを検討してほしい。	
解析の方法	CT群とEX群の2群間で患者背景項目に差があるかを検定した。検定には、年齢、測定値A、測定値B、測定値Cについては、パラメトリックを仮定した独立2群の平均値の差の検定としてStudent's t-testを適用した。また、性別については、2群の比率の差の検定としてFisher's exact testを適用した。統計的検定の有意水準は0.05とした。統計解析は統計ソフト〇〇 (会社名) を用いた。	

2. 解析結果

<解析結果>

CT群とEX群の患者背景項目の比較の結果を表1に示す。検定の結果、年齢については、CT群とEX群の平均値の差は有意ではなかった ($P=0.194$)。性別については、CT群とEX群の比率の差は有意ではなかった ($P=0.245$)。測定値Aについては、CT群とEX群の平均値の差は有意ではなかった ($P=0.732$)。測定値Bについては、CT群と比べてEX群の方が平均値が有意に高かった ($P=0.002$)。測定値Cについては、CT群と比べてEX群の方が平均値が有意に高かった ($P<0.001$)。

<参考コメント>

CT群とEX群の患者背景項目の比較の結果、測定値Bと測定値Cにおいて有意が認められましたので、今後、CT群とEX群の2群間で薬剤効果の検討を行う際には、測定値Bと測定値Cのバイアスを調整すべく、Propensity Score Matching等の処置をされますことをお勧め致します。

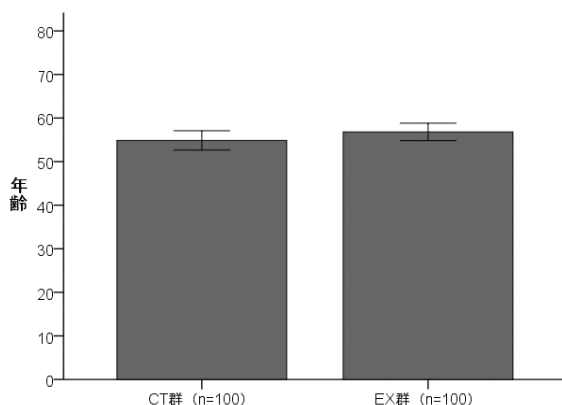
表1 CT群とEX群の患者背景項目の比較の結果

	CT群 (n=100)	EX群 (n=100)	P-value
年齢	54.9±11.2	56.8±10.1	0.194
性別			0.245
男性	43 (43.0%)	34 (34.0%)	
女性	57 (57.0%)	66 (66.0%)	
測定値A	117.7±28.3	119.1±29.5	0.732
測定値B	102.5±61.0	138.5±74.4	0.002
測定値C	62.5±39.5	108.9±44.1	<0.001

・年齢、測定値A、測定値B、測定値Cの検定にはStudent's t-testを適用した。
 表中の数値は、平均値±標準偏差を示す。

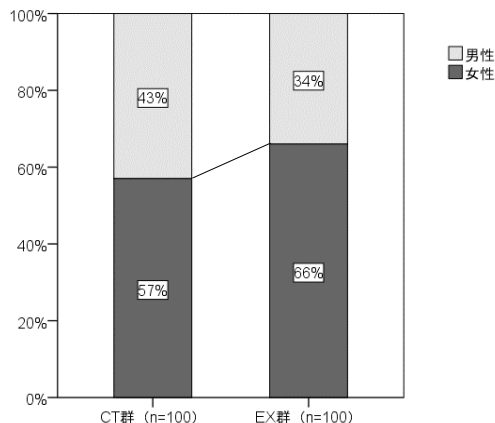
・性別の検定にはFisher's exact testを適用した。表中の数値は、n (%)を示す。

図1 CT群とEX群の年齢



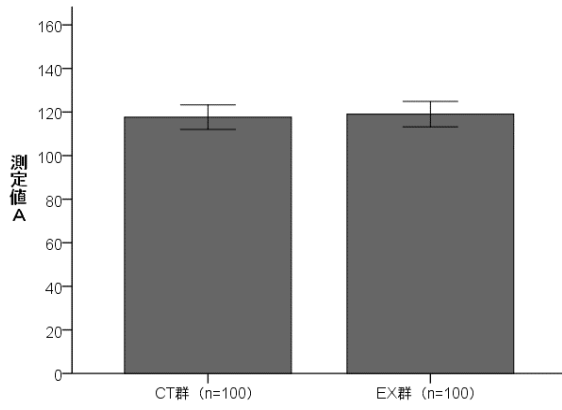
グラフ中のエラーバーは、平均値と平均値の95%信頼区間を示す。
 *** $P < 0.001$, ** $P < 0.01$, * $P < 0.05$

図2 CT群とEX群の性別



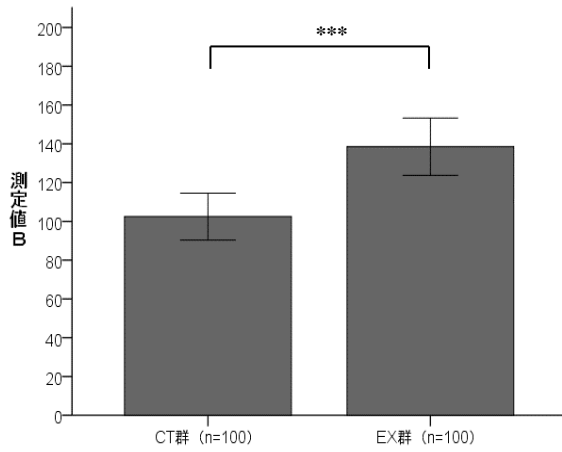
*** $P < 0.001$, ** $P < 0.01$, * $P < 0.05$

図3 CT群とEX群の測定値A



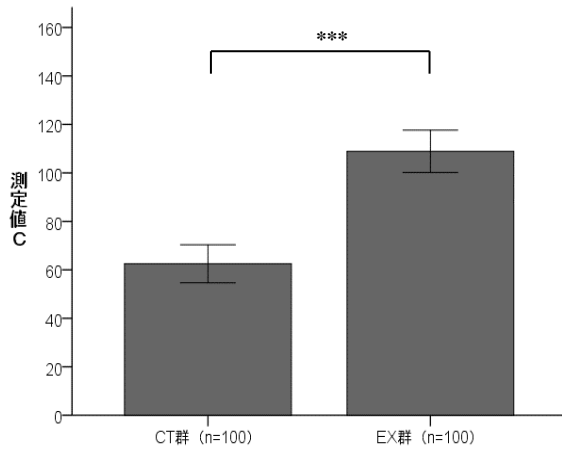
グラフ中のエラーバーは、平均値と平均値の95%信頼区間を示す。
***. $P < 0.001$, **. $P < 0.01$, *. $P < 0.05$

図4 CT群とEX群の測定値B



グラフ中のエラーバーは、平均値と平均値の95%信頼区間を示す。
***. $P < 0.001$, **. $P < 0.01$, *. $P < 0.05$

図5 CT群とEX群の測定値C



グラフ中のエラーバーは、平均値と平均値の95%信頼区間を示す。
***. $P < 0.001$, **. $P < 0.01$, *. $P < 0.05$